

平成 25 年 病院経営分析調査の概要

(1) 平均在院日数

全病院で見ると 16.35 日（前年 6 月 16.75 日）となっており、開設者別にみると、自治体病院は 15.98 日（前年 6 月 16.29 日）、その他公的病院は 15.15 日（前年 6 月 15.24 日）、私的病院は 19.61 日（前年 6 月 21.15 日）となっている。

また、一般病院の病床規模別に平均在院日数の短い方から順にみると、①600～699 床 13.04 日、②400～499 床 13.73 日、③500～599 床 13.83 日、④700 床以上 14.00 日、⑤300～399 床 15.62 日、⑥200～299 床 19.36 日、⑦100～199 床 23.99 日、⑧20～99 床 27.71 日となっている。これを開設者別病床規模別にみると表 1 のようになっている。

表 1 一般病院の平均在院日数、開設者別、病床規模別

開設者	病床規模								
	総数	20～99 床	100～199 床	200～299 床	300～399 床	400～499 床	500～599 床	600～699 床	700 床～
総数	15.78	27.71	23.99	19.36	15.62	13.73	13.83	13.04	14.00
自治体	15.21	27.35	22.05	17.37	14.83	13.45	13.41	13.32	14.29
その他公的	15.00	47.62	23.26	18.94	15.90	13.61	13.82	12.92	13.54
私的	18.82	22.09	26.96	23.40	17.28	14.94	16.55	12.14	14.31

(2) 病床利用率

全病院で見ると 72.99%（前年 6 月 72.82%）となっており、病院の種類別にみると、一般病院 72.92%（前年 6 月 72.50%）、精神科病院 74.75%（前年 6 月 79.00%）となっている。

また、一般病院の病床規模別に病床利用率の高い方から順にみると、①500～599 床 76.71%、②700 床以上 75.97%、③200～299 床 73.02%、④100～199 床 72.45%、⑤400～499 床 72.30%、⑥60～699 床 71.33%、⑦300～399 床 71.01 日、⑧20～99 床 68.19 日となっている。

表 2 一般病院の病床利用率、病院規模別

年次	病床規模								
	総数	20～99 床	100～199 床	200～299 床	300～399 床	400～499 床	500～599 床	600～699 床	700 床～
平成 21	72.41	72.76	73.12	70.78	68.78	72.00	73.18	80.82	78.32
22	75.81	73.76	73.73	73.80	72.64	76.91	78.92	80.53	79.45
23	74.45	71.79	73.28	72.67	72.02	74.53	78.60	76.66	76.50
24	72.50	70.88	71.66	69.91	69.18	72.74	76.70	74.85	76.76
25	72.92	68.19	72.45	73.02	71.01	72.30	76.71	71.33	75.97

(3) 一般病院における 100 床当たり職員数

職員総数は 157.5 人（前年 6 月 151.8 人）となっており、職種別にみると、医師 18.9 人（前年 6 月 18.2 人）、看護部門職員 91.3 人（前年 6 月 88.1 人）、看護部門職員のうち看護師 77.1 人（前年 6 月 74.0 人）となっている。その他、薬剤部門職員 4.4 人、放射線部門職員 4.2 人、検査部門職員 5.7 人、リハビリ部門職員 6.9 人、栄養（食事）部門職員 3.5 人となっている。

(4) 医師1人1日当たり取扱い患者数

入院の平均は4.8人(前年6月5.9人)となっている。診療科別でみると、入院で取扱う患者が多いのはリハビリ科18.2人、精神科16.9人、肛門外科8.9人、整形外科8.2人などで、少ないのは歯科1.9人、放射線科および麻酔科2.0人、小児外科および皮膚科2.3人などである。

外来の平均は7.9人(前年6月10.4人)となっている。診療科別でみると、外来で取扱う患者が多いのは肛門外科20.6人、皮膚科18.6人、眼科16.4人、耳鼻いんこう科12.7人、整形外科12.4人、泌尿器科11.7人、リハビリ科11.3人が多く、少ないのは麻酔科2.4人、小児外科2.5人、呼吸器外科および心臓血管外科3.0人、放射線科4.0人などである。

(5) 医師1人1日当たり診療収入

DPC以外の病院における入院の平均は255千円となっている。診療科別でみると、入院で比較的高額なのは、リハビリ科571千円、整形外科402千円、脳神経外科362千円、精神科334千円、循環器内科310千円などである。

DPC以外の病院における外来の平均は127千円となっている。診療科別でみると、外来で比較的高額なのは、泌尿器科205千円、肛門外科178千円、内科155千円、眼科145千円、整形外科138千円、呼吸器内科136千円などである。

DPCの病院における入院の平均は228千円となっている。診療科別でみると、入院で比較的高額なのは、リハビリ科586千円、心臓血管外科446千円、脳神経外科411千円、整形外科396千円、循環器内科361千円、婦人科323千円などである。

DPCの病院における外来の平均は99千円となっている。診療科別でみると、外来で比較的高額なのは、泌尿器科209千円、肛門外科160千円、内科148千円、眼科135千円、呼吸器内科127千円、消化器内科118千円などである。

(注) 平成22年度調査より集計方法を変更している。

表3 医師1人1日当たり診療収入、入院・外来別、診療科別

(単位：千円)

	DPC以外の病院		DPC以外の病院		DPCの病院		DPCの病院				
	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来			
総数	255	127			総数	228	99				
内科	295	155	泌尿器科	226	205	内科	247	148	泌尿器科	243	209
呼吸器内科	232	136	肛門外科	278	178	呼吸器内科	290	127	肛門外科	79	160
循環器内科	310	115	脳神経外科	362	84	循環器内科	361	90	脳神経外科	411	73
消化器内科	212	131	整形外科	402	138	消化器内科	247	118	整形外科	396	91
神経内科	281	91	形成外科	190	38	神経内科	268	88	形成外科	165	50
皮膚科	78	99	眼科	226	145	皮膚科	88	89	眼科	216	135
小児科	198	71	耳鼻いんこう科	128	104	小児科	163	57	耳鼻いんこう科	189	89
精神科	334	79	小児外科	238	26	精神科	192	83	小児外科	158	24
外科	258	85	産婦人科	179	48	外科	281	101	産婦人科	274	60
呼吸器外科	225	56	婦人科	209	89	呼吸器外科	294	66	婦人科	323	95
心臓血管外科	295	41	リハビリ科	571	44	心臓血管外科	446	35	リハビリ科	586	58
消化器外科	252	115	歯科	—	68	消化器外科	300	93	歯科	78	60

(6) 主な診療科別の患者1人1日当たり診療収入

DPC以外の病院における主な診療科別の患者1人1日当たり診療収入をみると、入院では心臓血管外科の92,721円が特に高額であるのに対して、最も小額なのは精神科の16,931円である。外来では呼吸器内科19,329円をはじめ、呼吸器外科19,144円、放射線科18,786円、消化器外科16,468円などが高額であるのに対し、最も小額なのは皮膚科の4,074円である。

DPCの病院における主な診療科別の患者1人1日当たり診療収入をみると、入院では心臓血管外科の130,699円が特に高額であるのに対して、最も小額なのは精神科の17,353円である。外来では肛門外科の28,180円をはじめ、消化器外科25,596円、呼吸器外科22,158円、外科22,111円、放射線科21,785円などが高額であるのに対し、最も小額なのはリハビリ科の4,204円である。

患者1人1日当たり診療収入を主な診療科別にみると図1および図2のようになっている。

(注) 平成22年度調査より集計方法を変更している。

図1 主な診療科別の患者1人1日当たり診療収入【DPC以外の病院】

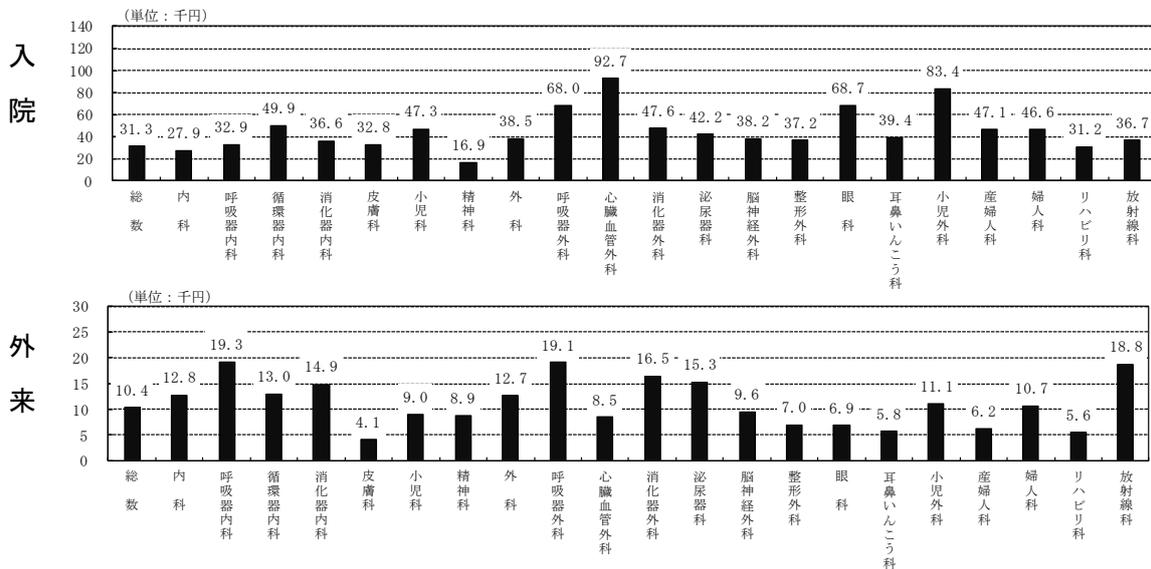


図2 主な診療科別の患者1人1日当たり診療収入【DPCの病院】

